

8 がん検診(健康増進法第19条の2関係)
(1) がん検診の受診状況

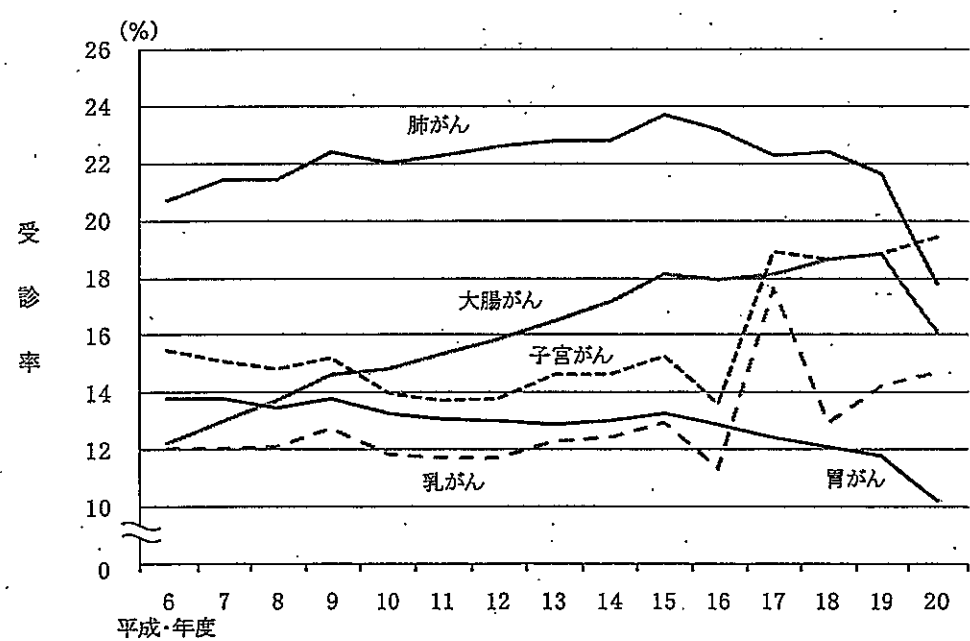
平成20年度に市区町村が実施したがん検診の受診率は、「胃がん」10.2%、「肺がん」17.8%、「大腸がん」16.1%、「子宮がん」19.4%、「乳がん」14.7%となっている(表8、図3)。

表8 がん検診受診者数及び受診率の年次推移

		平成16年度 (2004)	17年度 ('05)	18年度 ('06)	19年度 ('07)	20年度 ('08)
胃がん	受診者数 (人)	4 376 699	4 344 918	4 227 730	4 262 048	3 916 203
	受診率 (%)	12.9	12.4	12.1	11.8	10.2
肺がん	受診者数 (人)	7 769 635	7 537 013	7 387 430	7 506 113	6 685 467
	受診率 (%)	23.2	22.3	22.4	21.6	17.8
大腸がん	受診者数 (人)	6 430 450	6 630 503	6 824 088	7 176 312	6 418 334
	受診率 (%)	17.9	18.1	18.6	18.8	16.1
子宮がん	受診者数 (人)	3 995 021	3 439 094	3 320 265	3 538 132	3 499 278
	受診率 (%)	13.6	18.9	18.6	18.8	19.4
乳がん	受診者数 (人)	2 698 947	2 267 189	1 631 811	1 892 834	1 792 176
	受診率 (%)	11.3	17.6	12.9	14.2	14.7

注:1)受診率=(受診者数/対象者数)×100
 平成18年度「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、平成17年度から「子宮がん」及び「乳がん」の受診率の算出方法を変更した。受診率=(前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続の受診者数)/(当該年度の対象者数)×100
 2)平成17年度以降の受診率は、計数不明を除く。
 3)「受診者数」については、「用語の解説」参照。
 4)平成18年度以降の「乳がん受診者数」については、視触診方式及びマンモグラフィの併用者を計上。

図3 がん検診受診率の年次推移



注:受診率については表8の注を参照。

(2) がん検診受診率の分布状況

平成20年度の市区町村のがん検診受診率の分布をみると、がん検診受診率の高い「50%以上」の市区町村数は「肺がん」が254(14.1%)と最も多く、「胃がん」が66(3.7%)と最も少なくなっている。がん検診受診率の低い「0~10%未満」の市区町村数は「胃がん」が628(34.9%)と最も多く、「子宮がん」が179(9.9%)と最も少なくなっている。(表9、図4)

表9 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成20(2008)年度

	全国 市区町村数	がん検診受診率					
		0~10%未満	10~20%未満	20~30%未満	30~40%未満	40~50%未満	50%以上
胃がん	1 800	628	635	324	112	35	66
肺がん	1 800	418	417	318	213	180	254
大腸がん	1 800	351	634	429	206	87	93
子宮がん	1 800	179	683	479	204	112	143
乳がん	1.800	425	621	376	175	98	105

注:「0~10%未満」は、計数不明を含む。

図4 市区町村におけるがん検診受診率の分布状況

平成20(2008)年度

